

令和6年度社会福祉法人久慈市社会福祉事業団事業報告

I 運営の概要

令和6年度は介護保険法の改正に伴う介護報酬単価の見直しにより、基本報酬単価が微増の改定となりましたが、昨今の燃料費・物価高騰の影響を受け、介護保険サービス事業所は厳しい財政状況にあります。また、介護業界は全国的に人材が不足しており、職員が疲弊し離職者が増加する傾向にあります。

今年度は、久慈市との指定管理事業について指定期間を1年間延長する協定を締結し事業運営を行ってきました。

また、昨年度から継続して、山根地区デイサービスセンターを除く5施設の当法人への移管について、令和6年7月1日付で久慈市と基本協定書を締結し、その後、移管予定施設の修繕箇所及び譲渡契約等について協議を重ねた後、令和6年12月20日に開催された第9回久慈市議会定例会議において当法人への財産の譲渡等に係る議案が議決され、当法人への移管が決定しました。

一方で、山根地区デイサービスセンターは、土砂災害特別警戒区域であること及び利用率低下に伴い事業の継続が困難であるため、令和6年4月より休止していましたが、令和7年3月31日をもって事業を廃止しました。

このような中、一層効率的な運営に努めるとともに、基本理念の「利用者の尊厳及び人権を尊重し、その人らしい人生を大切にする」、「利用者の願いや要求に真摯に向き合い、理解し、共感する」、「利用者本位の自立・自己実現・自己決定の過程を支援する」ことに則り、

あんしんきょうせい
『安信共誠』を標語に掲げ、一層利用者の利便性とサービスの質の向上に努めました。

- ・利用者が「安」心できる施設を目指します。
- ・家族に「信」頼される施設を目指します。
- ・地域と「共」に歩み、共存する施設を目指します。
- ・職員は「誠」実なサービスを目指します。

(法人は職員に誠実な対応を目指します)

II 重点目標（実施事項）

(1) 感染症対策

・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染防止に係る対応について、『施設に持ち込まない』を念頭に職員及び利用者の体調面に関する情報収集に努めるとともに、『うがい、手洗い、マスク着用、手指消毒』を徹底して実施しました。

・感染症にかかる事業継続計画(BCP)を策定し、感染者や接触者が発生した場合等に備え、個室管理や生活空間等の区分けに係るシミュレーションや、人員体制に関する施設・事業所内、法人内等の関係者の相談、物資の状況の把握を行うとともに、感染者等が発生した場合の対応方針について、利用者や家族と情報を共有しました。

(2) 民営化の推進

- ・令和7年度の法人の民営化及び老人福祉施設等の移管に向けて、移管元である久慈市と協議を重ね、民営化に向けた対応を検討するとともに、6月には施設等の移管に関する基本協定書を締結し、2月には土地、建物及び物品に関する市有財産譲与契約を締結し、スムーズな移行に向けて取り組みました。

(3) 人材育成

- ・キャリアパス制度を制定し、スキル・知識・技術・資格を評価し昇級に反映しました。
- ・人事評価制度を制定し、1年間の行動・活動を階層ごとに評価し、昇給額及び賞与額に反映しました。
- ・介護福祉士の不足解消に向け、法人独自の奨学金貸付事業の周知に努めましたが、応募者がなく貸付には至りませんでした。
- ・若年層に魅力ある求人情報の発信に努めるとともに、在職者には事業団の福利厚生について周知を図り離職者の減少に努めました。令和6年度は3名を採用し、7名が退職しました。
- ・短時間勤務等の雇用形態の多様化を図り、働きやすい環境を整えたことにより、介護パート職員2名を雇用し、2名が退職しました。

(4) サービスの質の向上

- ・利用者一人ひとりのニーズや課題の分析・評価等に基づき、利用者の自己選択・自己決定を尊重した介護サービスを提供しました。
- ・身体拘束廃止やリスクマネジメントに積極的に取り組むとともに、事故・ヒヤリ・ハット事例を検証し、利用者が安全・安心に生活ができるよう支援しました。
- ・ホームページについて、SNS（Instagram）・施設広報・採用情報等の発信を行いました。

(5) 研修体制の充実

- ・施設ごとに各種研修計画を作成し、外部研修の他、オンライン研修（ARCS等）を活用して積極的な参加に努めました。
- ・研修においては、先進的・専門的知識と技術の習得に努めるとともに、受講した職員による伝達講習を実施し、広く知識・技術の浸透を図りました。

(6) 地域との共生

- ・地域に開かれた施設として近隣の各種団体との交流や、教育機関等の実習生及びボランティア等の受け入れを計画しましたが、新型コロナウイルス感染防止に係る対応により、感染症対策を行ったうえで、若干ではありますが実習・ボランティアの受け入れを実施しました。

Ⅲ 事業運営

1 事業団事務局

事業団の理事会、評議員会の開催及び出納調査を実施し、適正な法人運営に努めました。

各施設に苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図るため第三者委員との情報交換会を開催したほか、各種事業を下記のとおり実施しました。

(1) 理事会（定数：理事 6 名、監事 2 名）

理 事	久慈匡弘、久松希美子、皆川隆夫、小倉利之、藤原みよ子、谷地忠人
監 事	石渡高雄、佐々木信蔵

＜理事会の職務＞

①法人の業務執行の決定

②理事の職務の執行の監督

③理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職

会議名	期 日	主 な 内 容
第 1 回 理事会	令和 6 年 6 月 4 日	・理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について（報告）〔令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月までの期間〕 ・就業規則等の一部改正について（報告） ・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度決算について ・令和 6 年度資金収支補正予算（第 1 号）について ・元気の泉デイサービスセンター、大川目地区デイサービスセンター、宇部地区デイサービスセンター、久慈市立養寿荘及び久慈市立特別養護老人ホームぎんたらず久慈の移管に関する基本協定書の承認について ・第 1 回定時評議員会の開催について
第 2 回 理事会	令和 6 年 11 月 19 日	・理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について（報告）〔令和 6 年 4 月～令和 6 年 9 月までの期間〕 ・運営規程等の一部改正及び準職員及び臨時職員等の雇用等に関する規程の一部改正について（報告） ・市有財産譲与契約及び物品譲与契約の締結、並びに老人福祉施設等民営化実施計画に係る移管予定施設の修繕等の基本方針の承認について ・令和 6 年度資金収支補正予算（第 2 号）について
第 3 回 理事会	令和 7 年 3 月 12 日	・定款の一部改正について ・基本財産の処分について ・通所介護事業（山根地区デイサービスセンター）の事業廃止について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について ・令和 6 年度資金収支補正予算（第 3 号）について ・令和 7 年度事業計画について ・令和 7 年度資金収支予算について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事候補者の推薦について ・ 事務局長の選任及び解任について ・ 施設長の選任及び解任について ・ 施設長の解任について ・ 評議員選任・解任委員の補充について ・ 第2回臨時評議員会の開催について
--	--	--

(2) 評議員選任・解任委員会（構成：監事1名、職員1名、外部委員2名の合計4名）

評議員選任・解任委員	佐々木信蔵（監事）、長内壽一（職員）、古山誠、吉田利昭（外部委員）
------------	-----------------------------------

＜評議員選任・解任委員会の職務＞

① 評議員の選任及び解任

令和6年度は開催なし

(3) 評議員会（定数：7名）

評 議 員	村田東助、高屋敷真喜子、伊藤武男、小倉明、生平和男、木戸口敏男 根井元
-------	--

＜評議員会の決議事項＞

① 理事及び監事の選任又は解任

② 理事及び監事の報酬等の額

③ 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準

④ 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認

⑤ 定款の変更

⑥ 残余財産の処分

⑦ 基本財産の処分

⑧ 社会福祉充実計画の承認

⑨ その他評議員会で決議するものとして法令又は定款で定められた事項

会 議 名	期 日	主 な 内 容
第1回 定時評議員会	令和6年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告について（報告） ・ 令和5年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について ・ 元気の泉デイサービスセンター、大川目地区デイサービスセンター、宇部地区デイサービスセンター、久慈市立養寿荘及び久慈市立特別養護老人ホームぎんたらず久慈の移管に関する基本協定書の承認について
第2回 臨時評議員会	令和7年 3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定款の一部改正について ・ 基本財産の処分について ・ 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について ・ 理事の選任について

(4) 出納調査（監事：2名）

監 事	石渡高雄、佐々木信蔵
-----	------------

会 議 名	期 日	内 容
監 査 第 1 回出納調査	令和 6 年 5 月 24 日	・ 令和 5 年度事業報告及び会計監査並びに 1 月～3 月までの会計執行状況
第 2 回出納調査	令和 6 年 8 月 27 日	・ 4 月～6 月までの会計執行状況
第 3 回出納調査	令和 6 年 11 月 26 日	・ 7 月～9 月までの会計執行状況
第 4 回出納調査	令和 7 年 2 月 21 日	・ 10 月～12 月までの会計執行状況

(5) 福祉サービスに係る苦情解決事業

第三者委員	佐々木信蔵、高屋敷真喜子、伊藤武男
苦情解決責任者	各施設の施設長
苦情受付担当者	各施設の生活相談員等

会 議 名	内 容 等							
	施 設 名	苦 情	目 安 箱	郵 送	要 望 等	計	再掲	
							解 決	継続中
情報交換会 (令和 7 年 3 月 21 日)	ぎんたらす久慈	3	0	0	0	3	3	0
	養 寿 荘 (特定施設・訪問介護)	1	0	0	0	1	1	0
	大川目地区デイサービスセンター	0	0	0	1	1	1	0
	元 気 の 泉 (デイ・居 宅)	0	0	0	1	1	1	0
	山根地区デイサービスセンター	0	0	0	0	0	0	0
	宇部地区デイサービスセンター	0	0	0	1	1	1	0
	計	4	0	0	3	7	7	0

(6) 各種事業

事 業 名	期 日	内 容
岩手県社会福祉協議会 I W A T E ・ あんしん サポート事業（地域貢 献活動）		社会福祉法人が種別を超えて連携・協 力し、暮らしの困りごとを抱えた方の 自立を支援する「新しい 支えあいの しくみ」を作ることを目的とした事業。
	令和 6 年 4 月 9、17、23 日	・ 生活費等の支援（34,247 円）
	令和 6 年 10 月 10、17 日 令和 6 年 11 月 7 日	・ 生活費等の支援（39,601 円）

2 特別養護老人ホームぎんたらす久慈

(1) 家族との交流について

・主な交流行事

夏まつり	7月31日開催	家族9人参加
敬老会	9月11日開催	家族11人参加

・面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会者数	31	50	50	54	71	37	48	50	61	66	41	46	605	50.4

※ オンライン面会含む

(2) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催しました。

- ・誕生日会 ・こいのぼりフェスティバル参加 ・福祉まつり参加 ・夏まつり
- ・敬老会 ・訪問販売 ・ドライブ ・みずき飾り

②健康面の管理については、嘱託医による定期診療及び協力病院と連携を図りながら健康の保持に努めました。(健康診断年1回)

感染症対策については、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等の感染防止対応として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、感染の防止に努め、また、文書にて利用者、家族に注意を呼び掛けました。

(3) ボランティアの受け入れについて

ボランティアの受け入れについては、新型コロナウイルス感染防止に係る対応により、実施することができませんでしたが、夏祭り及び敬老会に子供会やダンスチームに舞台出演していただきました。

(4) 利用者、家族の意見等の反映について

苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図りました。日常生活においては、担当介護員が中心となり、積極的にコミュニケーションを図り利用者の声を介護に反映させるよう努めました。また、家族には広報の発行や面会時の状況報告を通して信頼関係の確立を図りました。

(5) 食事について

生活の中で楽しみとなる食事については、利用者の身体の状況及び嗜好を考慮するとともに、適時適温とし、季節感のある食事の提供に努めました。

- ①行事食 27回 ②麺の日 毎月第3火曜日 ③パンの日 毎月第2・4木曜日
- ④喫茶の日 毎週水曜日 ⑤嗜好調査 1回 ⑥残菜調査 1回

(6) 委員会活動について

内部組織として次の委員会を設置し生活レベルの維持・向上に努めました。

- ①行 事 委 員 会 行事、レク活動等の準備・計画等を行いました。
- ②広 報 委 員 会 広報の発行、壁紙新聞の作成等を行いました。
- ③保 健 委 員 会 保健衛生・健康管理に関する活動を行った。
- ④排 泄 委 員 会 排泄ケアに関する活動を行いました。
- ⑤リスクマネジメント委員会 安全確保、身体拘束廃止の推進等の活動を行いました。
- ⑥褥瘡対策委員会 褥瘡発生防止、褥瘡ケアに関する活動を行いました。
- ⑦感染対策委員会 感染症の防止、発生時の対策に関する活動を行いました。
- ⑧事故防止検討委員会 事故防止、発生時の対応に関する活動を行いました。
- ⑨喀痰吸引等に係る安全委員会 喀痰吸引等の安全対策に関する活動を行いました。
- ⑩身体的拘束適正化委員会 身体的拘束の適正化策に関する活動を行いました。

(7) 職員の資質向上について

内部研修を開催するとともに、外部研修への積極的な参加に努め、職員の資質向上を図りました。

- ①外部研修会・会議等参加状況 53 回
- ②内部研修会開催状況 71 回（オンライン研修含む）

(8) 利用者の状況について

①月別入退所状況

令和 7 年 3 月 31 日現在（単位：人）

月 区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	50	49	48	49	49	47	49	49	48	48	49	50	585
入 所	3	1	2	1	1	4	2	1	3	1	4	2	25
退 所	4	2	1	1	3	2	2	2	3	0	3	2	25
うち末日退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末入所人員	49	48	49	49	47	49	49	48	48	49	50	50	585

月初入所人員数には初日入所者を含む。月末入所人員には末日退所者を含む。

②前住地別入所者状況

（単位：人）

区 分 市町村	現 員			令 和 6 年 度 異 動 状 況					
				入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
久 慈 市	5	43	48	5	20	25	4	20	24
洋 野 町	1	1	2	0	0	0	1	0	1
計	6	44	50	5	20	25	5	20	25

③年齢別利用者状況

(単位：人)

区分	～64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 ～	計
男	0	0	3	0	1	2	0	0	0	6
女	1	0	2	2	6	8	13	11	1	44
計	1	0	5	2	7	10	13	11	1	50

④介護度別利用状況

(単位：人)

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	2	0	4	6
女	0	0	6	26	12	44
計	0	0	8	26	16	50

⑤年間利用状況

(単位：人)

	6 年度	5 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1 日 当 た り 利 用 人 員	48.9	49.4	△0.5	99.0
利 用 延 べ 人 員	17,858	18,074	△216	98.8

(9)短期入所生活介護事業について

指定居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに基づくサービスの提供に努めました。

①短期入所者利用状況

令和 7 年 3 月 31 日現在 (単位：人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	27	24	25	25	26	20	24	26	24	29	27	27	304
延べ利用者数	334	349	334	341	383	321	361	355	373	383	366	331	4,231
1 日平均 利用者数	11.1	11.3	11.1	11.0	12.4	10.7	11.6	11.8	12.0	12.4	13.1	10.7	11.6

定員 10 名であるが、長期入所者が入院した場合は、空きベッドを利用して短期利用者を受入れました。

②年間利用状況

(単位：人)

	6 年度	5 年度	増減	対前年度(比)
1 日 当 た り 利 用 人 員	11.6	10.5	1.1	110.5
利 用 延 べ 人 員	4,231	3,850	381	109.9

3 養護老人ホーム養寿荘

入所者の社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導及び訓練などで援助を行うとともに、その有する能力に合わせた自立を目指すものとして日常生活の支援を行いました。

処遇計画を作成し、その計画に基づき施設生活における自立支援を目指し、家事・生活援助と介護サービスを行いました。

(1) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感等を取り入れるため下記の行事を開催しました。

・誕生会(毎月開催) ・花見会 ・ 夏祭り ・ 敬老会 ・ 個別外出
・クリスマス会 ・ 豆まき ・ ひなまつり

②健康面の管理について

嘱託医及び協力病院と連携を図りながら早期対応に努めました。

健康診断を4月・10月の2回実施しました。

感染症対策については、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等の感染防止対応として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、感染の防止に努めました。

(2) 入所者、家族の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約に努めました。

電話連絡や面会時の報告を多くすることで家族とのコミュニケーションに努めました。

(3) 地域交流（ボランティア・慰問・地域行事参加）について

ボランティアの受け入れ・地域行事参加については、感染対策を行ったうえで、夏祭り（大川目保育園）・敬老会（山口保育園）・学習発表会（大川目小学校・大川目中学校）・運動会（山口保育園・大川目小学校・大川目中学校）・ハロウィン（山口保育園）・歌仲間かっこう（ボランティア）・訪問販売（マルコ・グリム）・大川目小学校の福祉教育出前講座に講師を派遣したり、保育園、小中学校の入学式・卒業式、地域団体の会合に参画しました。

(4) 食事について

食事を楽しんでいただけるよう入所者の身体の状態及び栄養の状態を把握し、嗜好に配慮した季節感のある食事の提供に努めました。

①行事食 59回 ②選択食 13回 ③嗜好調査 2回 ④残菜調査 2回
⑤手作りおやつ（調理）5回

(5) 委員会活動について

内部組織として、次の委員会を設置し生活の向上に努めました。

①行事・レク委員会 行事レク活動を計画し、Instagramや広報誌を発行しました。
②リスクマネジメント委員会 事故防止の検討、身体拘束廃止推進等を行いました。

- ③環 境 委 員 会 生活環境の改善・整備・物品の管理等を行いました。
- ④衛 生 委 員 会 感染症予防対策の実施、研修を主催しました。
- ⑤排 泄 委 員 会 排泄支援の運用、見直しを行いました。
- ⑥防 火 委 員 会 防災計画の策定、訓練（年2回）を実施しました。
- ⑦感 染 対 策 委 員 会 施設内感染対策状況の統括、評価見直しを行いました。
- ⑧身体拘束廃止検討委員会 会議を開催、身体拘束廃止の推進を行いました。
- ⑨虐 待 防 止 委 員 会 指針の策定、会議・研修の開催を実施しました。
- ⑩事 故 防 止 委 員 会 事故防止のための検討会議の開催、研修を実施しました。
- 各種会議を定期的開催し、業務に関する課題解決を図り、サービス向上に努めました。
- ①職種間会議 ②処遇会議 ③支援員会議
- 成年後見ネットワーク会議に参加し、権利擁護について協議検討を行いました。

(6) 職員の資質向上について

外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図りました。

- ①外部研修会参加状況 51 回
- ②内部研修会参加状況 33 回（オンライン研修含む）

(7) 入所者の状況について

①月別入退所状況

令和7年3月31日現在（単位：人）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	50	51	49	50	50	50	50	50	50	50	50	49	599
月中入所	1	0	1	1	1	2	1	0	2	0	0	1	10
月中退所	0	2	0	1	1	2	1	0	2	0	1	1	11
月末入所人員	51	49	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49	598

②前住地別入所者状況

（単位：人）

区 分	現 員			令 和 6 年 度 異 動 状 況					
				入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
市町村									
久 慈 市	10	30	40	5	4	9	5	5	10
洋 野 町	0	2	2	0	1	1	0	0	0
野 田 村	0	6	6	0	0	0	0	1	1
普 代 村	0	1	1	0	0	0	0	0	0
計	10	39	49	5	5	10	5	6	11

③年齢別利用者状況

(単位：人)

区分	～64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 ～	計
男	0	0	0	5	2	2	1	0	0	10
女	0	2	5	7	4	7	6	8	0	39
計	0	2	5	12	6	9	7	8	0	49

④月別面会状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会 者数	34	33	15	13	45	26	10	14	32	18	12	15	267	22.25

※ オンライン面会含む

⑤年間利用状況

(単位：人)

	6 年度	5 年度	増減	対前年度(比)
1 日 当 た り 利 用 人 員	49.7	49.9	△0.2	99.6
利 用 延 べ 人 員	18,156	18,258	△102	99.4

4 養寿荘特定施設入居者生活介護事業所

介護保険法及び老人福祉法の改正に伴い、平成 18 年 10 月より特定施設入居者生活介護事業所の指定を受け、養護老人ホームの入所者は介護保険による居宅介護サービスを利用することとなり、サービス事業者との契約により施設サービスの一部について外部居宅介護サービス事業者から介護保険サービスの提供を受けています。利用している居宅サービスは訪問介護及び通所介護並びに福祉用具貸与となっています。

①サービス別利用状況

令和 7 年 3 月 31 日現在 (単位：人)

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介 護者	訪問介護	37	38	39	40	42	41	40	40	41	39	39	39	475
	通所(大)	7	7	7	7	8	8	9	9	9	8	8	8	95
	福祉用具	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	2	3	36
計	訪問介護	37	38	39	40	42	41	40	40	41	39	39	39	475
	通所介護	7	7	7	7	8	8	9	9	9	8	8	8	95
	福祉用具	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	2	3	36

②サービス別利用状況延べ人数

(単位：人)

区 分			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問	身体介護	4,933	5,075	5,138	5,225	4,936	4,986	4,909	4,988	5,029	4,982	4,309	4,493	59,003
	介護	生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所介護(大)		57	59	40	56	49	62	82	67	51	42	51	53	669
	福祉用具貸与		3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	2	3	36
計	訪問	身体介護	4,933	5,075	5,138	5,225	4,936	4,986	4,909	4,988	5,029	4,982	4,309	4,493	59,003
	介護	生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所介護		57	59	40	56	49	62	82	67	51	42	51	53	669
	福祉用具貸与		3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	2	3	36

③介護度別利用状況

(単位：人)

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	6	1	1	1	1	10
女	0	1	7	9	6	10	1	34
計	0	1	13	10	7	11	2	44

④年間利用状況

(単位：人)

	6年度	5年度	増減	対前年度(比)
身 体 介 護 延 べ 人 数	59,003	63,550	△4,547	92.8
生 活 援 助 延 べ 人 数	0	0	0	—
通 所 介 護 延 べ 人 数	669	845	△176	79.1
福 祉 用 具 貸 与 延 べ 人 数	36	35	△1	102.9

5 養寿荘訪問介護事業所

平成19年10月より訪問介護事業所の指定を受け、訪問介護サービスの提供を行いました。

①サービス別利用状況

令和7年3月31日現在（単位：人）

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	37	38	39	40	42	41	40	40	41	39	39	39	475
要支援者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	37	38	39	40	42	41	40	40	41	39	39	39	475

②サービス別利用状況延べ人数

（単位：人）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介 護者	身体介護	4,933	5,075	5,138	5,225	4,936	4,986	4,909	4,988	5,029	4,982	4,309	4,493	59,003
	生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支 援者	身体介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	身体介護	4,933	5,075	5,138	5,225	4,936	4,986	4,909	4,988	5,029	4,982	4,309	4,493	59,003
	生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③介護度別利用状況

（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	6	1	1	1	1	10
女	0	1	7	9	6	10	1	34
計	0	1	13	10	7	11	2	44

④年間利用状況

（単位：人）

	6年度	5年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	59,003	63,550	△4,547	92.8
生活援助延べ人数	0	0	0	—

6 デイサービスセンター（大川目地区・元気の泉・山根地区・宇部地区）

(1) 大川目地区デイサービスセンター

サービス提供時間を6～7時間と7～8時間の混合型での営業として、利用者のサービス向上に努めました。

前年度に引き続き、認知症加算・個別機能訓練加算・口腔機能向上加算・科学的介護推進体制加算を算定し、個別に計画することで利用者の身体機能の維持・向上を図りました。

さらに特殊浴槽での入浴を希望する方や、経鼻経管栄養の方等、介護度の高い利用者を受け入れ、一定の医療ニーズを持つ方にも在宅生活が継続できるよう、関係する専門機関や家族との連携を図り、サービスの提供に努めました。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催（対面：2回）して意見を頂き、サービス向上に努めました。

(2) 元気の泉デイサービスセンター

サービス提供時間を7～8時間での営業として、ケアマネージャーへの空き状況のお知らせや情報提供等、密接な連携に努め、以前より依頼の多かった特殊浴槽での入浴を目的とした中重度者等幅広い受け入れや今年度より山根地区デイサービスセンターの休止に伴い、山根地区への送迎を週2回実施することで、送迎範囲のさらなる拡大を行うことで、45名の新規利用者を受け入れ、前年度から利用延べ人数が増加しました。

お試し利用の積極的な受け入れを行い、14名のお試し利用者を受け入れ、うち10名の新規利用に繋げることができました。

宇部地区デイサービスセンターへ配食を実施し、事業団のスケールメリットを生かした運営を行いました。

(3) 山根地区デイサービスセンター

令和6年度は事業を休止し、令和7年3月31日をもって事業を廃止しました。

(4) 宇部地区デイサービスセンター

サービス提供時間を6～7時間での営業として、元気の泉デイサービスセンターからの給食により利用者の状態にあった食事の提供を行い、利用者のサービス向上に努めた結果、新型コロナウイルス感染拡大の影響は少なくなりましたが、ショートステイ利用者が増えたため、前年度と比べ大幅な増減なく運営することができました。

前年度に引き続き、口腔機能向上加算・科学的介護推進体制加算・個別機能訓練加算を算定し、個別に計画することで利用者の身体機能の維持・向上を図りました。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催（対面：2回）して意見を頂き、サービス向上に努めました。

(5) 共通実施項目

① 計画的な運営管理の維持と実施体制の充実

- ・送迎については、乗降時の見守り、支援による安全、安心な乗降と、可能な限り利用

者の希望に沿った送迎体制をとるように努めました。また、送迎計画を基に安全な送迎の実施を行いました。

- ・健康確認については、バイタルチェック（体温、血圧、脈拍等）を行うことで、適切な健康状態の把握と対応に努めました。また、体調不良者については、家族及び担当ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めました。
- ・入浴については、利用者及び家族の利用目的の一つが入浴希望となっていることから、利用者の状態に合わせた入浴の実施に努めました。
- ・食事については、栄養士及び調理員が連携し、利用者の身体状況に合わせ栄養、嗜好も考慮し、季節感のある食事の提供に努めました。
- ・感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止の対応として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、感染の防止に努めました。

②通所介護計画等による適切なサービスの提供

- ・利用者ごとに担当者を決め、担当職員が中心となり個別のケアプランを作成しました。このケアプランを基に担当ケアマネジャー等との連携を図り支援内容の充実に努めました。
- ・毎月スタッフ会議を実施して、利用者の情報を共有し、職種間のスムーズな連携に努めました。

③利用者及び家族等に対する支援体制の充実

- ・連絡帳の活用や送迎時等、家族との情報交換を実施することで、利用者の健康状態等の把握に努めました。

④開かれた施設づくりと、地域との連携強化

- ・開かれた施設づくりを目指して地域との連携強化に努めようとしたましたが、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等の感染防止に係る対応により、実施することができませんでした。

(6) レク活動について

季節行事等を積極的に取り入れ実施しました。

また、創作活動を取り入れるなど、利用者の活動意欲を引き出すプログラムを実施しました。

(7) 利用者の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図りました。

(8) 職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 13 回
- ②内部研修会参加状況 38 回（オンライン研修含む）

(9) デイサービスセンター間の連携

相談員会議を毎月1回実施し、各デイサービスセンター間の情報交換を行うことで、事業運営、業務の効率化を図りました。

(10) 利用状況について

①月別利用状況（1日当たり利用人員）

令和7年3月31日現在（単位：人）

	6年度	5年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	14.1 (2.7)	14.8 (2.6)	△0.7	96.7
元気の泉デイサービスセンター	20.4	19.3	1.1	106.6
山根地区デイサービスセンター	0.0	9.0 (0.9)	△9.0	—
宇部地区デイサービスセンター	14.8	14.7	0.1	101.4
計	49.3 (2.7)	57.8 (3.5)	△8.5	85.3

（ ）内は、養寿荘利用者

②年間利用状況（利用延べ人員）

（単位：人）

	6年度	5年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	3,557 (669)	3,650 (632)	△109 (37)	97.4
元気の泉デイサービスセンター	6,254	5,921	333	105.6
山根地区デイサービスセンター	0	2,165 (213)	△2,165 (△213)	—
宇部地区デイサービスセンター	4,359	4,298	61	101.4
計	14,170 (669)	16,034 (845)	1,864 (△176)	88.4

（ ）内は、養寿荘利用者

7 元気の泉居宅介護支援事業所

利用者の委託を受け、心身の状況その置かれている環境等に応じて、利用者の意向に沿った居宅サービス計画を作成し、適切なサービスが提供されるようサービス事業者との連絡調整を図りました。

(1) 業務内容について

- ①介護サービス及び介護予防サービス（介護予防・日常生活総合事業）のケアプラン作成をしました。
- ②介護支援専門員実務研修実習生の受け入れを行いました（2件）。
- ③利用者及びサービス提供等に関する定期会議を開催しました。
- ④24時間連絡受付及び相談対応体制の確保を図りました。

(2) 職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図りました。

- ①外部研修会参加状況 8回
- ②内部研修会参加状況 11回（オンライン研修含む）

(3) 利用状況について

①月別・介護度別利用者数 （単位：人）

月 区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	61	64	62	68	68	68	66	64	63	57	57	64	762
要介護2	39	39	39	38	38	38	35	35	34	31	33	27	426
要介護3	29	31	27	29	29	26	25	24	27	23	26	27	323
要介護4	17	20	20	20	19	17	21	17	17	16	17	17	218
要介護5	7	7	5	5	5	6	6	6	6	5	5	5	68
計	153	161	153	160	159	155	153	146	147	132	138	140	1,797

※事業対象者は「介護予防・日常生活総合事業」の対象者。（平成28年10月より開始）

②年間利用状況（居宅介護支援事業所） （単位：人）

	6年度	5年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	1,797	1,841	△44	97.6

③利用者及びサービス提供等に関する定期会議の実施（事例検討を含む）

回数 51回（概ね週1回実施、介護支援専門員4名・施設長1名）

④24時間連絡受付及び相談対応件数（時間外・休日等） 57件

8 事業所別稼働率

事業所名	定員	平均利用者数及び稼働率			
		4年度 実績	5年度 実績	6年度 目標	6年度 実績
特別養護老人ホーム ぎんたらす久慈	50人	49.0人 (97.9%)	49.4人 (98.8%)	48.5人 (97.0%)	48.9人 (97.8%)
ぎんたらす久慈 短期入所生活介護事業所	10人	10.1人 (101.4%)	10.5人 (105.2%)	10.0人 (100.0%)	11.6人 (116.0%)
養護老人ホーム養寿荘	50人	48.9人 (97.8%)	49.9人 (99.8%)	49.0人 (98.0%)	49.7人 (99.5%)
大川目地区 デイサービスセンター	18人	15.3人 (85.2%)	14.8人 (82.1%)	14.4人 (80.0%)	14.1人 (78.4%)
元気の泉 デイサービスセンター	25人	18.1人 (72.4%)	19.3人 (77.1%)	18.2人 (72.8%)	20.4人 (81.5%)
山根地区 デイサービスセンター	15人	7.8人 (52.0%)	9.0人 (60.1%)	—人 (—%)	—人 (—%)
宇部地区 デイサービスセンター	18人	14.5人 (80.5%)	14.7人 (81.5%)	15.0人 (83.3%)	14.8人 (82.4%)
元気の泉 居宅介護支援事業所	—	1,907件	1,841件	1,800件	1,797件

※養寿荘については、月の初日における在所者数の平均値を掲載。()内は稼働率

ぎんたらす久慈及び各デイサービスセンターについては1日当たりの利用者数を掲載。

ぎんたらす久慈短期入所については、長期入所者が入院した場合の空床分を利用。

居宅介護支援事業所については年間の延べ件数を掲載。

6年度目標の欄は、予算作成時の利用者数及び件数を掲載。